

南高の新たな風

新生徒会の候補者たち



発行所
網走南ヶ丘高校
報道局
発行責任者
我妻孝介

生徒会選挙
9月21日
7限目実施

9月21日の7時間目、生徒会選挙が行われる。今年度の生徒会役員から2名、新人から5名が次期生徒会執行部役員に名乗りを上げた。報道局はこれからの南高を担おうとする7名に公約と意気込みを聞いた。



副会長立候補
1年D組 近藤新

「今までの先輩方が作り上げたものを守りながら生徒会に新しい風を吹き込みたい」と近藤氏は局員の前で意気込みを語る。運動が好きだという彼は「クラス対抗で行うイベントを企画したい」と今後の展望についても熱弁した。また、自身について「責任感が強く、なんでも自分のせいにしてしまう所が長所であり短所でもある」と評価する。その謙虚な姿勢の内に秘める熱意を持った彼の次期執行部での活躍が今から楽しみだ。



副会長立候補
2年A組 金重あかり

「自分で決めた目標には全力で努力を続けられる」と金重氏はその芯が通った性格の片りんを見せる。そんな彼女の強みは、「絶対的な時間・期限の厳守」であり、作業の期限が重要視される生徒会という場で大いに役立つと言えるだろう。また、「生徒の皆がより楽しく学校生活を送れるようにしたい」と述べ、「そのために、学校生活を送るときルールを少しずつ見直していきたい」と続ける。初志貫徹の副会長候補は我々にどんな景色を見せてくれるのだろうか。



会長立候補
2年B組 大崎拓海

「融通の利く性格なので、柔軟に他の人からの意見に対応できる」と自身の強みについて少しはにかみながらも語る大崎氏。時期生徒会長の座に着任した暁には、「学校祭のペナルティを撤廃し、公平性が担保されるようにしたい」と目標について述べた。大崎氏は以前の生徒会で会計の役職を務めており、「生徒会について知っていることは多いと思う」とのこと。



会計立候補
1年D組 河田華

「人前に出るのが苦手」と称す河田氏だが、「みんなが快適に過ごせる学校を作りたい」とはっきり表明した。「些細な生徒の不満を聞き入れ、沢山の人の声を聞いていく」といった様に公約を達成するための具体的な展望を述べた。彼女の強みは「責任感が強いこと」であると話し、「与えられた仕事を、最後まで取り組める」と語る彼女なら、生徒会の仕事をやり通してくれるだろう。やると決めたなら最後まで頑張れる彼女は、生徒会を円滑に進めてくれると期待が持てる。



会計立候補
2年C組 土門大珠

「生徒会としての責務を果たすことに加え、生徒からの要望に特化した『要望箱』の設置をしたい」と土門氏は真剣な面持ちでこれらの目標を掲げる。そんな彼の強みは「自分を客観視し、広い視野で物事を考えること」と「文章作成力」の二つで、前者については「こうしたい」というのはという訂正案をたくさん出すことができる」とのこと。また、後者に關しては何かと文章を書くことの多い生徒会では重宝されるスキルだろう。高いポテンシャルを秘めた彼の活躍に期待だ。



書記立候補
1年C組 西山田理奈

「これまでの南高よりいいものにし、南高生みんなの願望をかなえる」と、大きな公約を話した西山田氏。「生徒の意見を先生の元へ持って行き、抗議する」と難しいことであるが「出来る限り頑張りたい」と平然と語って見せた。そんな彼女は「負けず嫌い」である。テストやスポーツで負けることを嫌う彼女は、生徒会でも自分の考えを通していけると思われる。西山田氏は生徒会に新たな風を吹かせる存在になるのではないだろうか。



書記立候補
2年A組 三品梨々花

「生徒を支えるのは生徒会、ではその生徒会を支えるのは誰か」と鋭い疑問を投げかける三品氏。そんな彼女は「後方支援が得意なので、生徒会の仕事がスムーズに行えるようみんなのサポートに回りたい」とやる気に満ち溢れた様子で自身の目標について語る。以前に生徒会を務めていた経験があるという三品氏は、「表舞台でも裏方でも任された仕事は必ずこなししてみせる」と力強く宣言した。次期生徒会を支える存在としての彼女の活躍に期待がかかる。